



# はじめに

本町では、少子高齢化の進行による人口構造の変化、大規模自然災害に対する備えの必要性の高まりなど、社会背景が変容する中、「みんながつながる 住まいる まくべつ」を将来像とする第6期幕別町総合計画（計画期間：平成30年度～令和9年度）を策定し、その基本理念である「みんなで創るまち」「安全・安心なまち」「魅力あふれるまち」「みんなで学ばふまち」に基づき、町政を総合的かつ計画的に進めてまいりました。

一方、近年の地方自治体を取り巻く社会状況は、少子高齢化の更なる進行、生産年齢人口の減少、人々の価値観の多様化、デジタル社会への転換、地球温暖化対策、急激な物価高騰など大きく変化しており、複雑化する行政課題への対応が必要です。

さらにこのたび、計画策定から5年が経過することから、前期期間における各種施策の進捗状況を評価するとともに、計画の基本理念を継承しつつ、近年の新たな課題にも柔軟に対応するため、令和5年度から5年間の後期見直し計画を策定しました。

後期見直し計画においては、行政のデジタル化を進めるための取組、地球温暖化対策に向けた施策の展開、地域経済を循環させるための取組、「子どもの権利に関する条例」の理念に基づく施策の推進、教育ICT環境の実現、アイヌ施策推進地域計画を基にしたアイヌ文化の伝承・保存に関する活動など、多様化する町民ニーズや現下の社会情勢の中で求められる新たな課題への対応を適時・的確に進めてまいります。

今後も引き続き、あらゆる人・場所を包含する「みんなが」、相互に「つながる」をキーワードに、「住んでみたい」「住んでよかった」「住み続けたい」まくべつを実現するため、町民・団体・企業・行政の相互理解と役割分担、パートナーシップに基づく協働のまちづくりを進めてまいりますので、皆様の積極的な参画とご支援を心からお願いいたします。

令和5年3月

幕別町長 飯田 晴義

